

- ◆ 1 ページ
 - ・研修紹介 (教員長期研修)
 - ・学校紹介 (井口台中学校)
- ◆ 2 ページ
 - ・授業づくりシリーズ 学ぶ意欲が高まる授業を目指して (中学校外国語科編)
 - ・教育センター情報

平成29年度 **ミニレター**

2 月号

研修紹介 教科・領域等のエキスパートを目指して

教員長期研修


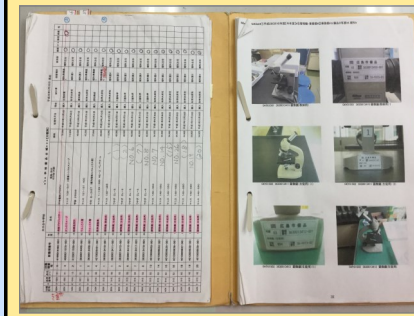

本研修では、「教科・領域等の専門性の向上」と「指導助言力の向上」を目指し、5名の先生が、1年間教育センターにて、研究や研修に取り組んでいます。「教科・領域等の専門性の向上」では、多くの本や論文から授業改善への仮説を立て、その検証授業を行いながら教育研究を進めています。「指導助言力の向上」では、指導主事の学校訪問に同行して、指導主事が指導助言する姿から学んだり、所属校の校内研修会で実際に指導助言したりするなど、実践的な研修を行っています。

<p>矢賀幼稚園 岩井美江</p> <p>思考力の芽生えについて追究するうちに、「分かった」は、「意欲」につながることを学びました。また、子ども達の「意欲」を誘引するためには、<u>日々の研修や教材準備が大切</u>だと改めて実感しました。</p> 	<p>袋町小学校 唐井美沙栄</p> <p>課題の要因を追究することで、課題解決に向けた指導方法を模索できました。また、「<u>掘り下げて要因を探す</u>」という姿勢が大切であることを学びました。今後も課題に対して追究する姿勢を持ち続けたいです。</p> 	<p>深川小学校 大内順子</p> <p>専門性を高めるため、理論に関する文献や新学習指導要領などを何度も読み込んだり、多様な研修を受けたりしました。それらにより、<u>理論を基に自分の考えをもつ</u>ことができるようになりました。</p> 	<p>宇品中学校 丸橋慶子</p> <p>多くの研修に参加する機会をいただきました。「子どもの理解」「授業づくり」「マネジメント」等の研修は、<u>未来を生きる子どもの育成につながる</u>という意識で臨むことが大切だと改めて感じました。</p> 	<p>中広中学校 東歸道子</p> <p>校内研修会で見取った子どもの姿を、自身の言葉で表現し、授業者に伝える機会をいただきました。また、授業観察では事実に加え、その背景まで探よう意識しました。今後は<u>授業者の効力感につながる伝え方</u>に取り組みたいです。</p> 
---	---	--	--	---

【研修報告会の実施】日時：3月22日(木) 14:00~16:45 場所：広島市教育センター
 教員長期研修生が、1年間進めてきた研修の成果を報告します。ぜひ、ご参加ください。なお、各研究テーマ等は、2月末に各学校に通知予定の実施要項等に記載します。所属校や研究会を始め、多くの皆様の出席をお待ちしております。

学校紹介 事務室発！！業務改善 井口台中学校

井口台中学校では、働き方改革を進めるために教職員の多忙感や困り感を共有し、それらの改善に向けて様々な取組を行っています。今回は、仕事の見える化や情報の共有化などに、事務室が中心となって取り組んだ業務改善について紹介します。

<p>物品棚の整理</p> <p>保管スペースにラベルを貼り、種類ごとに並べたことで、所在や在庫状況を把握しやすくなった。</p> 	<p>備品点検簿の整理</p> <p>備品点検簿と写真を並べて綴じたことで、名称だけでは分かりにくい備品も確認しやすくなった。</p> 	<p>施設修繕箇所の整理</p> <p>校内配置図に、年度ごとの修繕内容と費用を記載したことで、修繕状況を把握しやすくなった。</p> 
--	--	--

<p>【事務職員の声】</p> <p>見える化したことで、物品や学校施設の管理がしやすくなりました。また、仕事の効率が上がり、勤務時間内に業務を終えることができました。</p>	<p>【教員の声】</p> <p>備品点検簿に写真があることで、転勤後、初めての備品点検が短時間で終わりました。また、物品が常に揃っているので安心です。</p>
---	---

今回紹介した取組は、広島市教育センター研修「学校事務職員研修」で発表していただいた内容の一部です。〔詳しくはこちら → [学校事務職員研修資料](#)〕

～子どもの心に
火をつける～



学ぶ意欲が高まる授業を目指して

子どもたちの「学ぶ意欲」を高めるためには、学習過程の中の「導入場面」「課題認識場面」「課題解決場面」「振り返り場面」の中で、子どもが主体的になれる活動を仕組むことが重要です。
今回は、課題認識場面に焦点を当て、自己関連性を高めることを意識した実践事例を紹介します。

課題認識場面

「自己関連性」を意識した指導

中学校外国語科編

中学校外国語科では、様々な言語活動を設定したり、教材を作成したりする際に、「自己関連性」を意識することで、子どもたちの学ぶ意欲を高めることにつながることができます。
「自己関連性」とは、「ある事柄が生徒自身のことに関連する程度」を意味しています。言語活動の場面・状況設定や目的、教材の内容等が「自己関連性」の高いものであれば、子どもたちの学習意欲を高めることにつながります。

中学校 第3学年
Program 7
井口台中学校
宮本 洋世 教諭
の実践より

- (例)
- ・ 学校(家庭)生活に関わることを扱う
 - ・ 生徒にとって身近な人、ものを扱う
 - ・ 生徒が興味を持っている人、ものを扱う
 - ・ 他教科で学んだことを扱う
 - ・ 実際にあり得そうな(リアルな)場面・状況設定をする
 - ・ 生徒自身の考えや意見を述べる言語活動を設定する など

Do you know the building which was built by Ashikaga Yoshimasa in Kyoto?



今回は、課題認識場面において、自己関連性を高める内容を工夫するとともに、教師がモデルを示すなど、段階的な指導を行った実践事例を紹介します。

【単元の目標】 自分の大切なもの(人)について、読み手に分かりやすい表現を用いて自分の考えや気持ちを書く。
【本時のねらい】 あるもの(人)について、情報を加えて、詳しく説明しよう。

課題認識場面

ステップ

- ① やり方を学ぶ
関係代名詞(that)を用いた教師の英語クイズに、生徒が答える。
- ② 習得する
ワークシートを活用して、関係代名詞(that)を用いたクイズを作る練習をする。
- ③ 試行錯誤する
関係代名詞(that)を用いてクイズを作成し、生徒同士で問答する。

自己関連性を意識した工夫

- ・ 学校生活に関わること(部活動、学校行事等)を扱う
- ・ 生徒にとって身近な人(先生)を扱う
- ・ 生徒が興味を持っている人(芸能人、スポーツ選手等)を扱う
- ・ 他教科で学んだ人物を扱う

あっ! これって〇〇先生のことだよね!

Q5

This is the teacher in our school that likes bamboo sprouts.

いくつか空欄に埋めてみるかな?

(例) A: It's a big grey animal that has a long tail.
B: Is that an elephant?
A: That's right! (あててもらったらAさん)

□1 rabbit	□2 Kaguya hime	□3
□4 Beethoven	□5	□6
□7 panda	□8 Chindrella	□9

ベートーベンが答えになるようなクイズをつくるには・・・!?

体調不良の人が来る場所?学校でいえば・・・!?

- (1) () is the place that is used by sick people.
- (2) () is a sport that is played by 18 people
- (3) () is a big animal that lives in the sea
- (4) () is the man that plays baseball in the U.S.
- (5) () is the teacher that teaches social studies
- (6) () is the woman that sings well and is popular in Japan

日本の人気女性歌手といえば・・・!?

課題解決

- 活用する
廊下で友達から「あなたはどんなスポーツが好き?」と尋ねられ、それに答える文を書く 等

- ・ 実際にあり得そうな場面・状況設定を行う

おしらせ

教育センターはみなさんの自主研修をサポートします

教員長期研修生研究報告

毎年、教員長期研修生は、教育活動の充実を目指して、実践研究等に取り組んでいます。

その研究報告として、これまでの教員長期研修生の研究論文を、教育センターのホームページに掲載していますので、今後の実践にぜひご活用ください。

教育センターTopページ「研究報告・研修成果物」の中の「教員長期研修生研究報告」へお進みください。

